

20 歳 未 満 の 死 因 順位別死因及び死亡率・割合（平成27年）

		1 位	2 位	3 位	4 位		5 位	
0歳	愛知県	先天奇形、変形及び染色体異常 51 (77.7) <36.4>	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害 23 (35.1) <16.4>	乳幼児突然死症候群 7 (10.7) <5.0>	不慮の事故 6 (9.1) <4.3>		心疾患 5 (7.6) <3.6>	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害 5 (7.6) <3.6>
	全国	先天奇形、変形及び染色体異常 715 (71.1) <37.3>	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害 248 (24.7) <12.9>	乳幼児突然死症候群 96 (9.5) <5.0>	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害 83 (8.3) <4.3>		不慮の事故 81 (8.1) <4.2>	
1～4歳	愛知県	不慮の事故 9 (3.4) <19.6>	先天性奇形及び染色体異常 7 (2.6) <15.2>	悪性新生物 5 (1.9) <10.9>	敗血症 2 (0.75) <4.3>	心疾患 2 (0.75) <4.3>	肺炎 2 (0.75) <4.3>	急性気管支炎 2 (0.75) <4.3>
	全国	先天奇形及び染色体異常 159 (4.0) <20.5>	不慮の事故 109 (2.7) <14.0>	悪性新生物 68 (1.7) <8.8>	心疾患 50 (1.3) <6.4>		肺炎 50 (1.3) <6.4>	
5～9歳	愛知県	不慮の事故 7 (2.0) <28.0>	悪性新生物 6 (1.8) <24.0>	脊髄性筋萎縮症 2 (0.6) <8.0>	他殺 2 (0.6) <8.0>		/	
	全国	悪性新生物 100 (1.9) <22.1>	不慮の事故 87 (1.7) <19.2>	先天奇形及び染色体異常 33 (0.6) <7.3>	心疾患 26 (0.5) <5.8>		肺炎 25 (0.5) <5.5>	
10～14歳	愛知県	悪性新生物 8 (2.3) <24.2>	自殺 6 (1.7) <18.2>	不慮の事故 4 (1.1) <12.1>	その他新生物 3 (0.9) <9.1>		肺炎 2 (0.5) <2.6>	
	全国	悪性新生物 107 (1.9) <22.8>	自殺 89 (1.6) <18.9>	不慮の事故 74 (1.3) <15.7>	先天奇形及び染色体異常 28 (0.5) <6.0>		心疾患 18 (0.3) <3.8>	
15～19歳	愛知県	自殺 24 (6.4) <30.8>	不慮の事故 21 (5.6) <26.9>	悪性新生物 7 (1.9) <9.0>	心疾患 3 (0.8) <3.8>		先天奇形及び染色体異常 2 (0.5) <2.6>	
	全国	自殺 447 (7.5) <36.6>	不慮の事故 288 (4.8) <23.6>	悪性新生物 147 (2.5) <12.0>	心疾患 52 (0.9) <4.3>		その他新生物 21 (0.4) <1.7>	

注 1) 死因順位の選び方については、人口動態統計で使用されている「死因順位に用いる分類項目」及び「乳児死因順位に用いる分類項目」を使用した。

2) ()は各年齢階級人口10万対の率、ただし0歳は出生10万対の率

3) < >は百分率 (それぞれの年齢階級死亡数を100とした場合の割合)

4) 愛知県は名古屋市、中核市を含む。

5) 数値は、人口動態統計(平成27年)